



# 進修の空 2

号外



## 松井さん ありがとうございます



学校安全ボランティアの松井さんが、今日、引退されました。

引退のお話を聞かせていただいたのは一昨日の2月24日でした。学校に来てくださった松井さんは、いつものボランティアの方用の黄色のジャンパーではなく、ジャケットを着ていらっしやっただので、『どうされたのかな。』と心配が頭をよぎりました。

松井さんは校長室で「この2月いっぱいボランティアをやめさせていただきたいと思います。」と穏やかな口調で話されました。驚いて理由をお聞きすると、歩くのがたいへんになられたとのことでした。ずい分、無理をしていたのだと知りました。そんなたいへんな中で、寒い日も暑い日も、雨の日も風の日も、子どもたちの交通安全を守るために、宇治浦田の交差点に立ち続けてくださっていたのです。

松井さんには14年という長い間、学校安全ボランティアとして活動していただきました。お世話になった人の中には、すでにお父さんお母さんになっている人もいるかもしれません。交差点で、松井さんの笑顔に元気をもらった子どもたちがたくさんいます。大人の私たちにも、いつも優しく接して下さり、松井さんにお会いすると、安心するとともに温かい気持ちになりました。

初めて松井さんにお会いしたのは、昨年度、4月9日の入学式の朝でした。式の来賓として進修小の校長室に一番先に来ていただきました。温かく誠実なお人柄が初対面でも伝わってきました。すてきな出会いをさせていただきました。そのことも思い出して、「とても寂しいです。」とお伝えすると、松井さんもうっすらと涙を浮かべておられました。いろいろな思いが込み上げてみえたのだと思います。「14年間、ボランティアを続けることができたのは、子どもたちの元気なあいさつと笑顔に励まされたからです。無事に終えられてほっとしています。」と話されました。

松井さんが、ひたすらに子どもたちのためにしてくださったことは、誰にでもできることではありません。「まごころ」を尽くしてくださったと思います。そして、松井さんが毎朝、交差点に立っていただくことをご理解いただいた家族の皆さまにも感謝の気持ちでいっぱいです。改めて、進修小の子どもたちは、地域の皆さまの愛情とご支援の中で育っているのだと感じます。子どもたちには、松井さんが心を込めてしてくださったことをいつまでも覚えていてほしいと思います。

14年間、本当にありがとうございました。お疲れさまでございました。

